



大和市立緑野小学校
学校だより 11月号

みどりの



令和2年10月30日

10月の行事より

校長 稲葉 敦子

今年度、行える行事が少ない中、10月は、「創立50周年記念植樹式」と「体育発表会」を行うことができました。

2日に行われた「植樹式」には、50周年実行委員の皆様、6年生、本校卒業生でオリンピック選手の青木智美さんが参加のもと「八重桜」を植えました。八重桜の花言葉は、「豊かな教養」「善良な教育」「しとやか」です。「豊かな教養」「善良な教育」という花言葉は、幾重にも重なった花びらに、積み重ねられた知識や知恵をなぞらえたものといわれているそうです。また、「八重」という言葉には「8」という数字が使われています。古くから日本では「8」という数字にはたくさんという意味がありました。さらに漢字で「八」と書き、どこまでも交わらずに広がっていく、末広がりな数字として縁起の良い数とされています。50周年の記念として植えるにふさわしい木を植樹でき、とても嬉しく思いました。

「植樹式」が終わった後には、青木選手に「夢に向かって」というテーマでご講演いただきました。大会で活躍された映像を見せていただくと共に、青木選手が大事にしている3つのことを教えてくださいました。それは、「目標をもつ」「失敗から学ぶ」「最後まであきらめない」です。この3つについて例を示しながら子どもたちにわかりやすく話してくださいました。講演会の前後には、各クラスを回りながら、子どもたちと直接会って声かけしていただいたり、メダルを見せていただいたりしました。子どもたちは大喜びで、青木選手に、「来年のオリンピックもがんばってくださいと応援の言葉をかけていました。」記念に残る素敵な1日でした。

15・16日に行われた体育発表会では、子どもたちが練習の成果を十分発揮し、各学年とも素晴らしい演技を披露することができました。そして、今年度初めて学年全員で取り組み、一つのものを作り上げることができました。発表会当日だけでなく、練習の時から掛け声も校庭に響き渡り、練習に臨む態度もしっかりしていて、本番に向けてがんばろうという意気込みが感じられました。ミッキーマウスの音楽に合わせて踊る1年生のかわいらしい姿。掛け声やクラスごとのポーズも決まって、「ピース」をテーマに成長した姿を見せてくれた2年生。テーマの「スマイル」の通り、笑顔あふれる3年生のダンス。黒い法被を身にまとい、迫力あるソーランを踊った4年生。5年生の気持ちを表しているかのように太鼓の音が一つになり、静と動の動きを見事に表現したエイサー。「ゆいまーる」という沖縄の言葉があり、「助け合う」「共同作業」「一緒にがんばろう」という意味だそうですが、その言葉がぴったり当てはまる素晴らしいエイサーでした。そして、6年生。風を切る旗の音が耳に心地よく響き、真剣に、そして、誇らしげに踊る6年生の姿に涙が止まりませんでした。途中のダンスも代表の児童が考えて振り付けをし、全員で踊るという、まさに自分たちで作った最高の演技でした。子どもたちが、力を合わせて一つのものを作り上げる姿に深く感動し、元気をもらいました。発表会当日には、たくさんの保護者、ご家族の方に見に来ていただきありがとうございます。

最後になりましたが、本日「あゆみ」を渡しました。体育発表会の行事も含め、これまでお子様ががんばったところを褒めていただけたらと思います。